

道徳だより



矢板市立片岡小学校

小学校では、平成30年度から検定教科書を導入して「道徳科」の授業が始まります。その時間には、「自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことを目標として、学習を進めることとなります。

本校では、10月5日（水）の1学期末PTAで、3学級で授業が公開されました。その授業について、上記との関連を見てみましょう。

1年1組 「めだかのめぐ」

主題名 たのしいがっきゅうに 4－（4）愛校心

ねらい 互いに思いやり、協力し合って学級の生活を楽しく充実したものにしようとする。

授業の実際

- ・お面をつけて動作化をさせたり、ワークシートを活用したりして、主人公めぐの気持ちを共感的に捉えられるようにした。
- ・友達の発表を見たり聞いたりして、やさしさや思いやりも感じ取ることができた。
- ・学級で楽しいことや学校でがんばっていることなどを、ワークシートに書いたり発表したりして、自分自身を振り返ることもできた。

授業後の担任の感想

- ・1学期の終了するこの時期に本資料を扱うことで、2学期は、さらに楽しい学級にしていこうという意識をもって生活していかれることを期待している。

6年1組 「のりづけされた詩」

主題名 自分の心に誠実に 1－（4）誠実・明朗

ねらい 見せかけのカッコよさにとらわれず、自分自身に正直であることを大切に、明るいい心をもって生活していこうとする気持ちを育てる。

授業の実際

- ・事前に友達が書いてくれた自分の「良いところ」を読み、思っていたことと同じか違うか確かめた。
- ・他人の詩の一部を自分の詩の一部に使い、本当のことを伝えようか伝えまいか反問

する和枝の心の内を，ペアで話し合わせることで，よく見られたい自分と正直に生きたい自分をさまざまな言葉で表現することができた。

- ・もう一度友達が書いてくれた自分の「良いところ」を読ませ，見かけではない「良いところ」を，友達は言動から感じ取っていることを確認させた。

児童の感想から

- ・こんなに「良いところ」を書いてくれるんだと思った。自分ってこんなにすごいんだなと思った。
- ・友達は，正直な心でやっていることを分かってくれて，ちゃんとそのことを書いてくれたんだなと思った。

6年2組 「お母さんへの手紙」

主題名 かけがえのない命 3－（1）生命尊重

ねらい かけがえのない生命の大切さに気付くとともに与えられた生命に感謝し，よりよく生きようとする心情を育てる。

授業の実際

- ・生まれた時のエピソードを聞き，親の思いを感じ取らせた。
- ・資料を読み，佐江子とその母の気持ちを話し合った。児童だけでなく，事前に保護者にも同じ資料を読んでおいていただき，感想を発表していただくことで，母親の気持ちにより迫れるようにした。
- ・もう一度「命の大切さ」について，自分自身の考えを振り返らせた。

児童の感想から

- ・お母さんの書いたアンケートを見て，思わず泣きそうになった。私のことをこんなふうに思ってくれていたんだって。

保護者の感想から

- ・多感な時期に入り，親の話を素直に聞けない子どもたちだが，普段は口に出さない親の思いを知ることができたと思う。どう向き合うべきか悩んでいた私にとっても，子育てを反省するきっかけになった。

このように，自分はどう考えるのかを明確にし，友達と議論しながら，自分にとってよりよい生き方を模索していきます。ときには，アンケートに答えていただいたり，エピソードを語っていただいたりして，授業に参加していただくこともあるでしょう。その際は，子どもたちの成長のため，御協力いただければ幸いです。

